

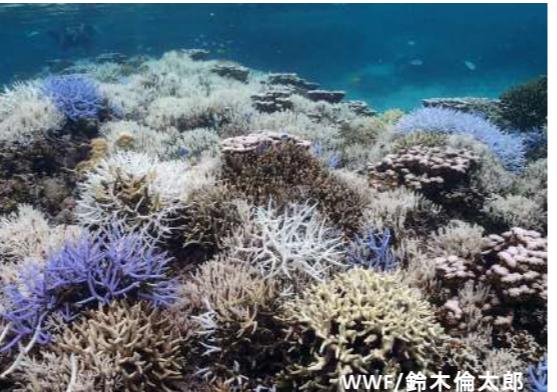
なつぱな 夏花新聞

2017年4月発行 第5号
NPO夏花（なつぱな）
石垣市白保158
TEL : 0980-87-0302
080-8553-8848
HP : natsupana.com
facebook.com/natsupana



白保のサンゴ礁でもサンゴが白化！

2016年の夏、「沖縄のサンゴが白化している」とのニュースが全国を駆け巡りました。環境省の発表では、石西礁湖の9割のサンゴが白化し、その7割が死んでしまったそうです。このサンゴの白化現象は、白保の海でも起こりました。白保では7月の上旬に礁池のなかでミドリイシやトゲサンゴの白化が認められ、その後8月10日には35～45%のサンゴが、8月22日には40～55%のサンゴ達が白化し、そのうち20%が死亡していることが確認されました。



WWF/鈴木倫太郎

2016年9月4日の白保礁池

白保のサンゴ礁では、過去にも1998年、2008年にも白化現象が起こりました。このサンゴの白化現象が起きた年には、共通していることがあります。それは、夏に高水温が長く続くことです。原因は様々ですが、その一つに台風が来なかったことが挙げられます。例年、7月には台風が石垣島に接近しますが、今年は9月まで台風が近づきませんでした。そのため、7月～8月の暑い時期に浅い海の海水温が高いままの状態になったのです。サンゴが生きる適正水温は24～28°C。白保のサンゴ礁に設置している水深3mの水温計では、8月の平均水温は30.8°C、記録を見ると30°Cを超える時間が668/744時間もあったのです！暑くなってしまった白保の海で、多くのサンゴ達は、暑さに耐えきれずに白化してしまったのです。

サンゴの白化は、温暖化の影響で再び起こると考えられています。私たちは何をすべきなのでしょうか？サンゴの白化を引き起こす原因是高水温だけではなく、陸からの流れ込む土砂等によるストレスも関係しています。私たちは、これらのストレスを減らし、サンゴ達が快適に生きる海を汚さない努力をすることができます。みんなでその努力を続け、白保のサンゴ礁の回復を見守っていきましょう！

（WWFサンゴ礁保護研究センター白保サンゴ村 センター長鈴木倫太郎）

NPO夏花7～12月主な活動

- 7月 白保中2年生インカチ漁体験
JICA（南米）講義
- 8月 筑紫女子大学受入
HISツアー受入
- 9月 清泉女子大学受入
沖縄大学受入

- アースウォッチand総合地球環境学研究所
共同の赤土調査（夏）
白保住民ビーチクリーン
- 10月 JICA パラオ受入
JICA 中南米受入
和歌山県職員労働組合グリーンベルト

地域おこし協力隊が仲間入り!!

石垣市では2016年より総務省の「地域おこし協力隊」事業を導入し、その第1期協力隊の1名がNPO夏花で活動しています。9月に就任した吉田礼（あや）は、9年前にWWFしらほサンゴ村のインターン生として白保に滞在したことがあり、その経験が今回の夏花での活動に繋がりました。夏花では特産品の製造・販売や販路拡大、またそれらの製造に向けた加工所の整備のほか、ツアーや受入など、夏花の活動をサポートしています。

協力隊が夏花で取り組む活動の一つでもある加工所の整備は、月桃加工品等の特産品を製造するため、約2年前から稼働しています。この加工所ではこれまで、赤土流出防止のために農地の周辺に植えた月桃から作ったルームデオドラントスプレー「sarmin」や月桃茶またはお菓子の香りづけ等に使用する月桃粉末を製造してきました。



これらの拡大や月桃以外の地域資源を活用した商品開発に向け、現在空調設備や商品保管場所の拡大など、加工所の整備を進めています。今後加工所を更に活用したいと考えておりますので、製造加工に興味のある方は、夏花事務局までご連絡下さい。

sarmin新規取扱店

「223雑貨店」@東京 桜上水
「ニラカナイ」@東京 自由が丘
「三省堂書店ICU売店」@東京 三鷹
「しましまストアー」@石垣市 大川
「しらほいえcafe」@石垣市 白保
「パピル」@石垣市 白保

企業・団体研修増加

NPO夏花が2016年4月から実施したツアーや研修等の受け入れは、21回にも及びました。これは2015年度と比べても倍近くになっており、リピーターの企業・団体・学校等はもちろん、新規も多く、NPO夏花が発足してからツアーや研修等の受け入れは年々増加しています。

プログラム内容は、赤土流出対策としての月桃植栽やシュノーケリング体験、サンゴに関するレクチャーや白保の伝統的な料理の試食、民泊に稼業体験、集落散策など、多岐にわたります。そういう白保の自然や文化、人々の暮らしづくりを体験、学習してもらうことが評価されています。大学のツアーや研修の受け入れに関しては、白保の小学校5年生から白保中学校2年生で構成している「しらほこどもクラブ」との交流も兼ねており、大学や専門学校などが無い石垣島では、この世代の学生たちと地域のこどもたちが関わり、ともに自然体験や文化体験をしていくことにより、子供たちの地域愛の向上や島の外について考える良い機会となっていると考えております。これからも白保地域の皆さまのご理解とご協力を願いいたします。



集落散策をする県職員労働組合の皆さん

- 11月 白保小6年生シュノーケル
富士ゼロックス研修受入
住友生命役員視察
大阪昇陽高校修学旅行受入
赤土調査（秋）
東京農業大学グリーンベルト

- JICA稼業体験
白保中学生環境学習
12月しらほこどもクラブ
with沖縄大学ゲッチョセミ



白保日曜市

白保日曜市では、不定期に「白保日曜市LIVE」が行われています。

白保日曜市のお客様の為にと、横目研究所の横目師匠夫妻を中心に、横目研究所の門下生のみなさんがLIVEをして白保日曜市を盛り上げてくれています。八重山の古典民謡を生で聞けるチャンスはなかなかないので、観光客の方に大変好評です。最初はゲリラライブ的に、ごくたまに行われていましたが、最近では、頻度が高くなっていますLIVEを楽しみにするお客様も増えています。

また雑誌取材や個人ブログ、SNSなどで白保日曜市を取り上げてもらうことも増え、気づけば白保日曜市のFacebookも友達が1000人を超えました!!

「継続は力なり」といいますが、長年地道に続けてきて、そしてみんなの協力あって白保日曜市があるんだなと感じます。

LIVEの告知はFacebookでしか行ってないので、是非チェックしてください!



白保日曜市LIVE by横目研究所



赤土調査報告【夏/秋】

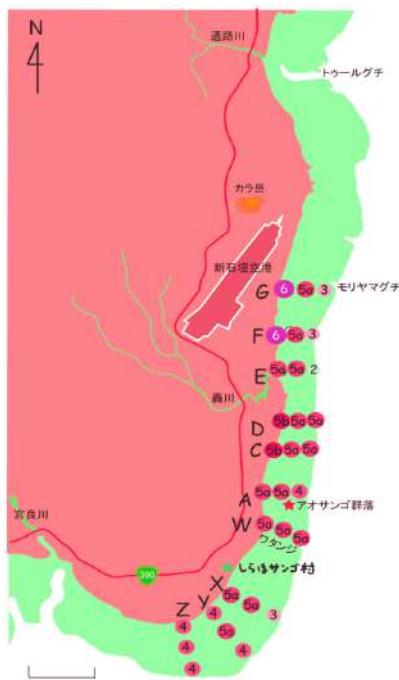
夏季調査では、轟川河口より以北の浜端付近2か所でランク⑥といふ高い赤土堆積量を記録し、見た目の濁りも如実であった。しかしそ他の定点では比較的に低い値になり、堆積量の少なさが伺えました。しかし、水中全体の見た目としては、多くのサンゴの白化現象が確認されました。（*白化については別途記事を参考）

秋季調査での水中の見た目の変化としては、夏季に比べ透明度が上がったように感じました。それは（夏季調査後の）台風の影響により、赤土が礁池外に排出されているのではないかと予想できることから、堆積量は夏季調査に比べて大きな変化はない結果となりました。

夏季調査も秋季調査も、サンゴの白化が目立ち今後の成長が心配ですが、根気強く調査を重ね、夏花新聞で情報を発信していきたいと思います。

調査方法：SPSS法（※）

※海底より一定量の砂を採取し、その中に含まれる微粒子による海水の濁り具合を測定することで海底に沈殿する赤土の量を推定する方法（5m以上でサンゴに影響があるレベル）



2016年9月 夏季調査



中学生の環境学習

白保中学校2年生への環境学習として、「コーラルウォッチ」というサンゴの健康度合いを色で判断する調査を実施し、去年からデータを蓄積しています。カラーチャートと呼ばれる専用の用具を使い、簡易的に調査しています。今年は、夏と冬に一回ずつ計2回調査を行いました。前年度から引き継いでいるサンゴを各グループで担当し、調査しています。

今回の調査では、白保でもサンゴの白化がみられ、夏の調査時点ではサンゴ表面の色はだいぶ薄く、冬の調査ではある程度色が戻っていましたが、健康な色合いとは言えない状態であったように見えました。来年もまた、中学2年生が同様に調査をしていきたいと考えています。



中学2年生コーラルウォッチ



カラーチャートでD3のサンゴ

《コラム》

サニーズ

1年で最も干満の差が大きい旧暦3月3日は浜下り。家族で浜に出て、浜の石を積んで囲って火を焚き、ご馳走を食べたりします。ご馳走は目の前の海で採れる魚貝や海藻。干上がった海はおかずの宝庫。そんなのどかな風景が広がったやう。女の子は海水に手足を浸して身を淨める習わしでした。

十年ほど前、「よ～し海に行こう！」と、小さい息子にラッシュガードを着せ、浮き輪を持って護岸に登ると、干上がった海ははるか遠く。浮輪の出番はなく、お弁当でなだめすかした思い出があります。

今年のサニーズは3月30日です。



【寄付の申し込み先】

①郵便振り込み

口座番号：01700-5-144439

加入者名：特定非営利活動法人夏花

②クレジット決済 <http://natsupana.com/donate>

「寄付を申し込む」をクリックしてください

サンゴ礁保全センタークラブ「夏花んちゅ」

会費：月500円/口

☆特典☆

夏花新聞メールにてお届け

ツアー参加時の割引

白保の商品プレゼント（年1回） *ご入会1年以上の方

- 白保の皆様へ
- NPO夏花では白保村の村づくり、サンゴ礁保全と一緒に活動してくれる方を募集しています。
- ①民泊受入家庭（稼業体験含む）の募集。
- 農業体験やホームステイなど、白保の暮らしを体験するプログラムを実施しています。全体プログラムは夏花が運営し、その一部を受け入れていただきます。受入時には宿泊費等をお支払いします。
- ②月桃の加工品を製造するアルバイトさんを募集しています。
- 週2日～OK（学生可）お問い合わせください。
- 080-8553-8848（吉田・坂田）